☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０１９

神戸新聞　令和元年１１月２４日（日）

工作やドローン操作など体験

学ぶことって楽しい！

「フェスタ」に子どもら参加

丹波篠山

ワークショップやクイズなどを通じ、学習の楽しさを体験する「たんぱっ子！学びフェスタ」が23日、四季の森生涯学習センター（丹波篠山市網掛）で開かれた。丹波地域の高校生や市民グループなどが、間伐材を使った工作、ドローンの操作、動物との触れ合いなど、子どもの興味を引く多彩なコーナーを設置。小学生や園児、保護者らが詰め掛けた。（藤森恵一郎）

丹波教育事務所や丹波篠山、丹波両市教委、PTA、高校の代表らでつくる実行委員会が毎年開き、今年で9回目。丹波地域の全6高校の生徒約100人がボランティアで参加した。

NPO法人バイオマス丹波篠山のコーナーでは、子どもたちが工作に熱中した。松かさにスプレーで色を塗ったり、接着剤で木材に飾りを付けたりし、クリスマス用の小物を完成させた。ワークショップでは他に、水消火器を操作する防災体験、餅つき、ハーバリウム作りなどもあった。

柏原、氷上西、篠山産業の3高校の生徒はそれぞれ、特製の丼、うどん、カレーを調理。配布を始めると、親子が長蛇の列を作った。岡野、多紀、小川、大路の4小学校の児童は、各校区で調べた自然や史跡などの魅力を発表した。

3人きょうだいで訪れた東小2年の菓子悠成君(8)は「紙飛行機の新しい折り方を教えてもらった。めっちゃ飛んだ」と喜んでいた。

(上)消火器の使い方を学ぶコーナーで、的に向けて水を噴射する子ども
(下)真剣な表情で松かさに飾りを付ける子どもたち＝いずれも丹波篠山市網掛